

特集

大阪大学接合科学研究所

第17回 産学連携シンポジウム

『接合って何? Joining & Welding World Resource Innovation』

～ものづくりを支える・変革する～

2020年 6月26日(金)

主催 大阪大学接合科学研究所 大阪商工会議所 一般社団法人 生産技術振興協会

開会のご挨拶



大阪大学接合科学研究所長

田中 学 氏

接合科学研究所は、溶接・接合分野における世界屈指、我が国で唯一の総合研究所であり、「ものづくり」に不可欠な溶接・接合技術において、産業界が抱える課題を科学的に解決するばかりではなく、時代に即した人類社会の多様なニーズに応えるために、従来の常識では解決が難しい課題設定に挑戦し、その解決のために新しい学問領域を切り拓くべく、接合プロセス、接合機構、接合評価を追求する3研究部門と、粉体の積層科学を中心に未来の材料加工技術を探求する附属スマートプロセス研究センターが両輪となって、接合科学の発展に努めています。

世界的には溶接・接合科学の3大研究拠点の1つとして認知され、特に、溶接分野での近年の学術論文数は世界で群を抜いています。2009年には文部科学省から「接合科学共同利用・共同研究拠点」と

して認定され、国内外の大学・中立研究機関から200名以上の共同研究員を受け入れ、質の高い共同研究、拠点間連携研究を推進しています。

このような研究活動で培った大学発の「専門知」を社会に提供するのみではなく、共に「新たな知」を創造する共創の取り組み、その帰結によって生み出されるイノベーションが社会から強く求められています。本研究所では、毎年「産学連携シンポジウム」を開催し、本研究所のシーズを情報発信するとともに、産業界のニーズを捉えて実社会とのマッチングをはかり、新たな共創の機会を探求する場としています。本学のモットー「地域に生き世界に伸びる」を標榜した産学共創研究を展開し、革新的なものづくり技術創出のためのイノベーションの起点になることを目指しています。

本年度の「産学連携シンポジウム」は第17回目の開催ですが、昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めてオンラインでの開催となりました。登壇いただく各講師のご協力を得て、オンデマンド方式のオンライン会議となります。開催時間中であれば、いつでも、どこでも、聴きたい講演から視聴することが可能となり、対面式では得られないメリットもあろうかと思えます。ウィズコロナ・ポストコロナ時代に向けて、新たな生活様式の中で従来以上に効果的で効率的な交流の場となれば幸いです。

本研究所の略称は JWRI (Joining and Welding

Research Institute) ですが、各文字は Joining & welding, World, Resource, Innovationとも置き換えられ、「ものづくりを支える・変革する」をスローガンに、モノをつなぐ・世界をつなぐ・人をつなぐ・未来をつなぐ活動を行っております。本シンポジウムが産業界との文字通りの「つなぎ」となり、「ものづくり」のイノベーションにつながる場となることを期待しています。

最後になりましたが、共催となります、大阪商工会議所ならびに（一社）生産技術振興協会の温かいご協力に対して心よりお礼申し上げます。

